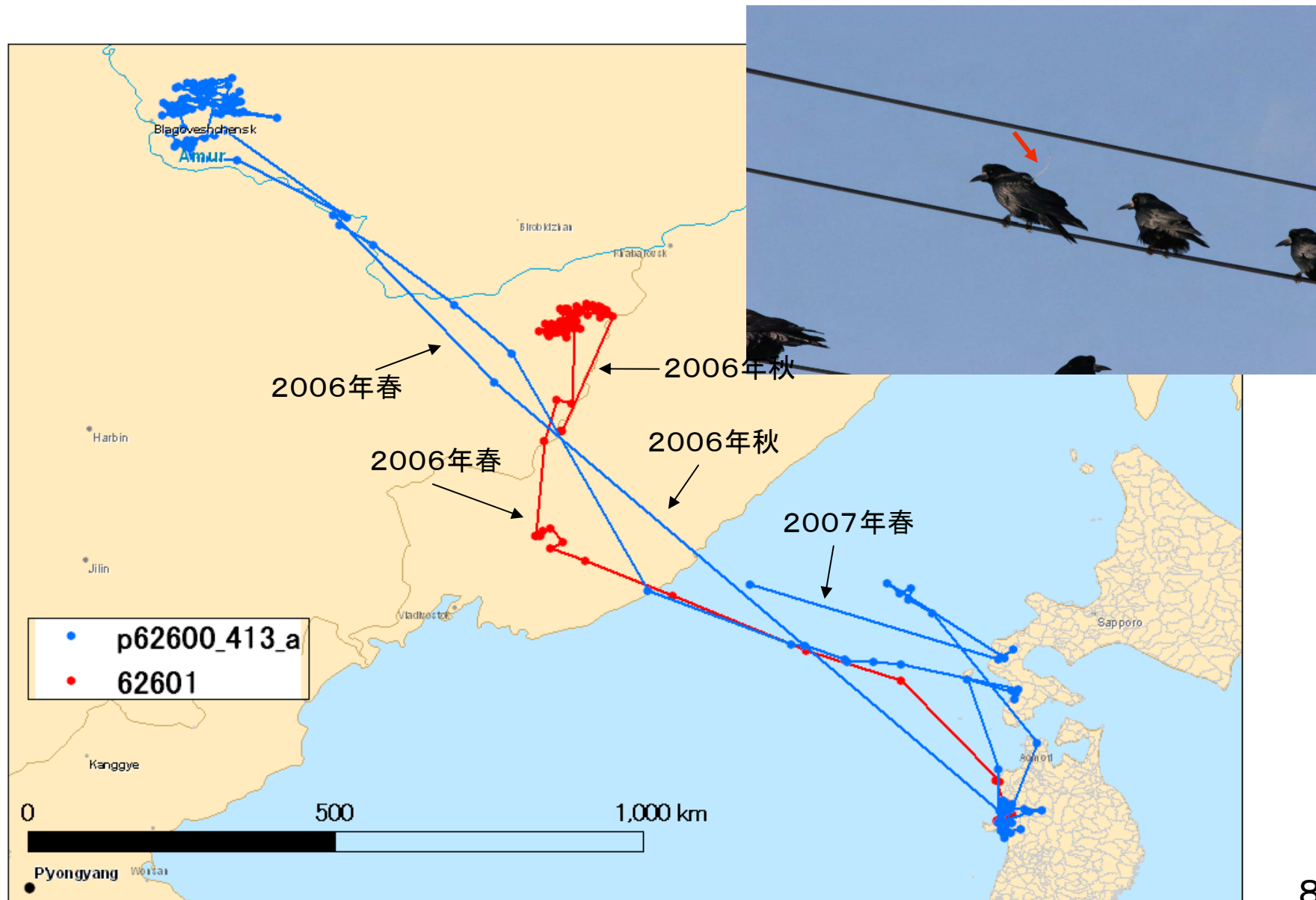
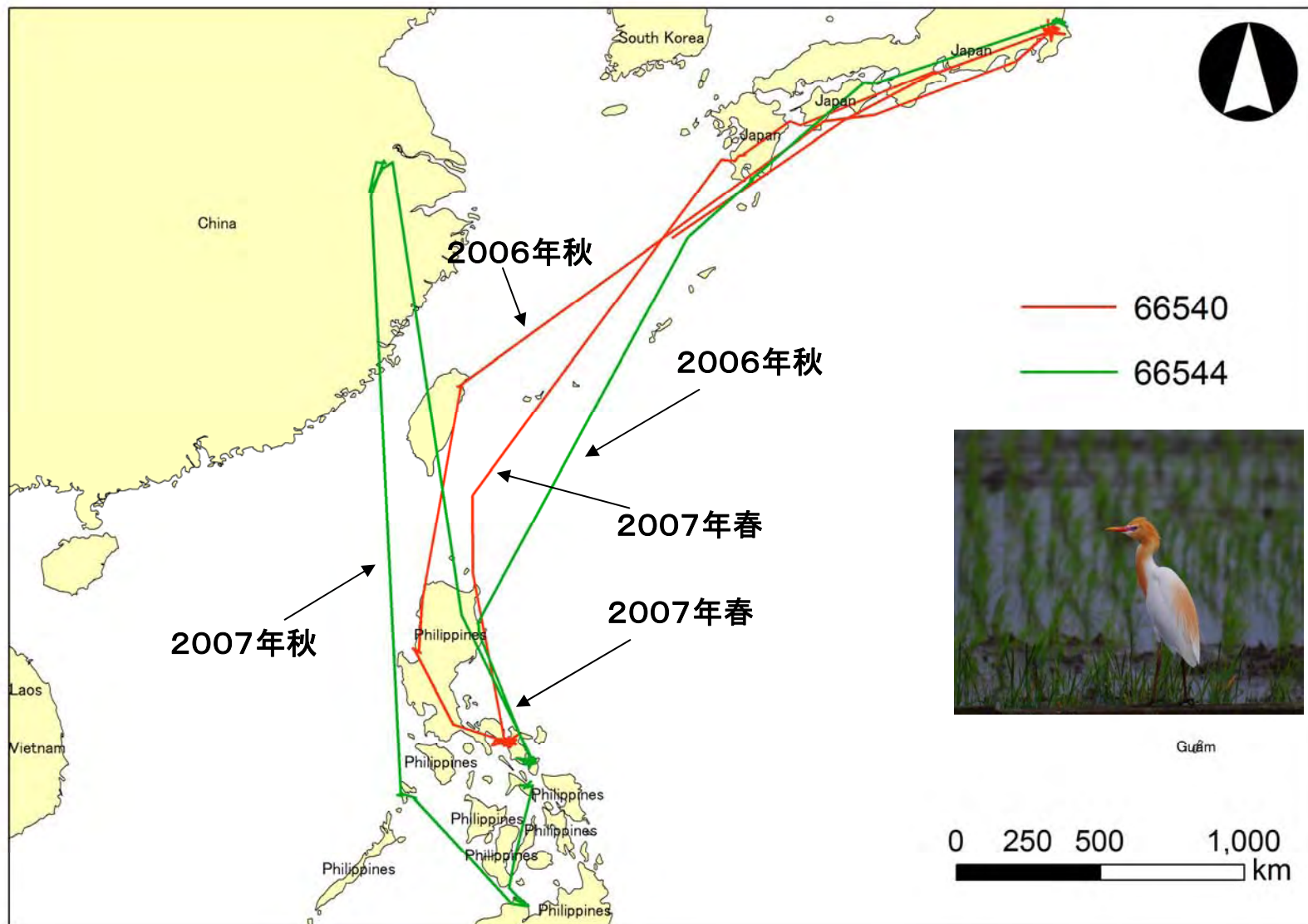


# 秋田県南秋田郡大潟村から追跡したミヤマガラスの渡り経路 2006年春～2007年春。

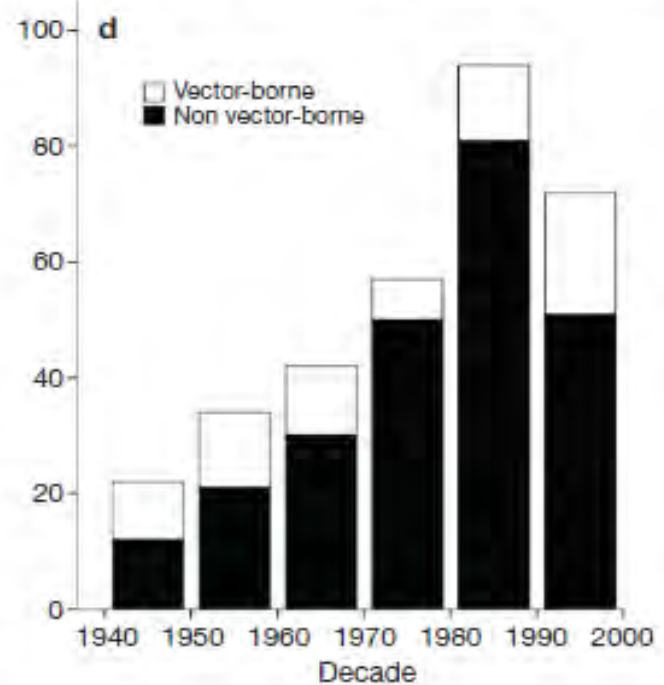
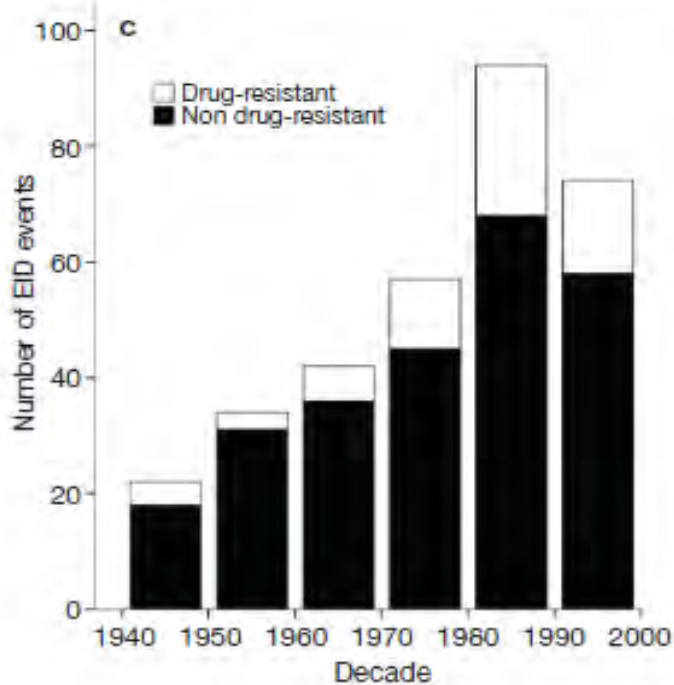
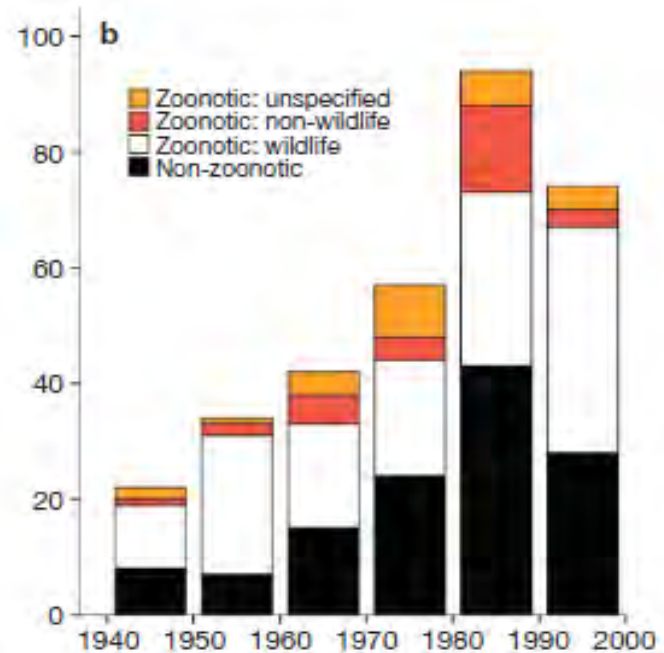
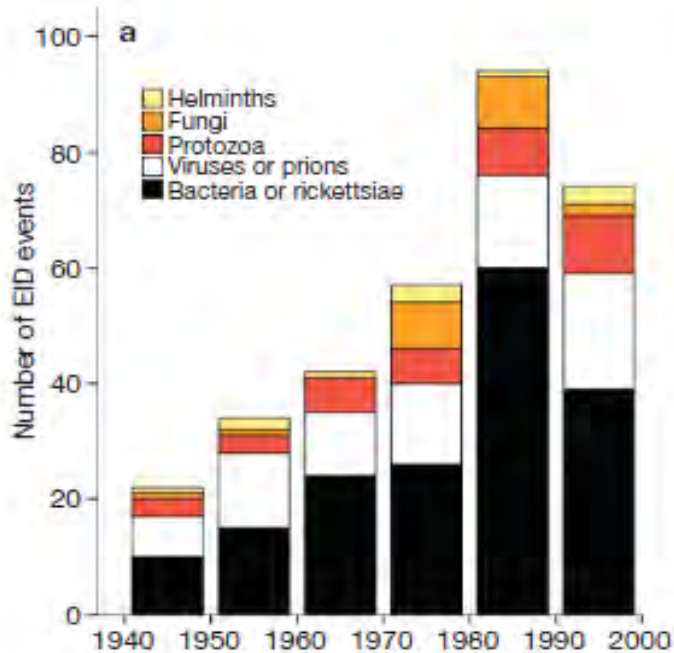


# 茨城県つくば市・小美玉市から追跡したアマサギの渡り経路 2006年秋～2007年秋。



# 今後の課題

- 渡り調査
  - － 継続及び規模の充実
- ウエストナイル
  - － サーベイランス体制の充実
- インフルエンザ
  - － サーベイランスの規模、継続性、体制の充実、情報のシェアリング
- データベース
  - － 頻繁なアップデート、ハード・ソフトの更新、情報の還元





# 哺乳類と鳥類だけでも15,000種が地球上に棲息

生物種の1/5～1/50が知られている  
1980年以降世界で38種の新種のサルが発見  
2002年にもアマゾン流域で新たに2種の新種が発見

## 新種発見！？ボルネオ島で赤毛の肉食動物みつか

■2005年12月8日

### カメラが捕らえた謎の動物

長い尾、全身を覆う赤い毛、よく発達した後ろ足。目が光っているのは、カメラのフラッシュが反射したため。2003年4月、ボルネオ島カリマンタン(インドネシア領)で、不思議な動物が、2枚の写真に収められました。

夜間、カヤン・メンタラン国立公園のカメラトラップ(けもの道に仕掛けられた自動カメラ)によって撮影されたものです。場所は、国立公園のラルート・ピライ・ステーションから半径2キロ以内、標高700メートルの山の峰近く。カメラを設置したのは、現地のWWFスタッフ、アンドリス・サロとアマット・ウチでした。カメラは多くの哺乳類が通り過ぎる場所に設置され、餌は付けられていませんでした。

写真に写っていたのは、イエネコより少し大きな赤毛の哺乳類。誰も見たことの無い動物でした。1枚目の写真は正面から、もう一枚は後ろ姿をとらえたものです。



©WWF/Kayan Mentarang & D. Augeri

## Press Releases : オーストラリア 2006年2月7日

インドネシア・パプア州で多くの新種が発見される。  
"ロストワールド"- 幻の極楽鳥、新種のミツスイ、新種のカエル、希少な木登りカンガルーが、パプア州のフォジャ山脈で発見される。



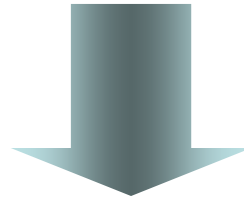
©Bruce Beehler/CI

(ワシントンDC) - 2005年12月、コンサベーション・インターナショナル(CI)を中心とした米・豪・インドネシアの科学者から構成された調査隊による、アジアでも最も秘境とされる密林、インドネシア・パプア州(ニューギニア島西部)、霧に覆われたフォジャ山脈(Foja Mountains)での調査で、幻の極楽鳥、新種のミツスイ、新種のカエル、希少な木登りカンガルーなどが発見された。

60年以上ぶりのニューギニア島での鳥類の発見となる新種のミツスイのほか、カエル類、蝶類、植物、など数十の新種の発見は、まさに映画「ロストワールド」を彷彿とさせる。

調査隊は、オスのBerlepsch's Six-Wired Bird of Paradise (Parotia berlepschi)(カンザシフウチョウの一種)の写真撮影に成功。近隣国のパプアニューギニアのたった1つの山でしか知られていなかった大型哺乳類のGolden-mantled Tree Kangaroo (Dendrolagus pulcherrimus)(木登りカンガルーの一種)も発見した。

- 我々が培養することのできる細菌は全体の0.4%にすぎない
- ウイルスは全体の1%
- 海中には平均 $3 \times 10^9$ /lのウイルスが存在



- ヒトに感染性を示す細菌/ウイルスが存在する可能性は高い

# 対応

- アウトブレイクの早期検出
- 病原体の迅速同定
- 封じ込め、ワクチン開発、治療薬開発などの対応

ヒトにおけるサーベイランス  
生態系サーベイランス(野生動物)